



むし ムシ みーつけ！



ヘレン、ようこそどうぶつえんへ

マーガレット・ブロイ・グレアム さく・え とも の ふゆひこ やく
キッズメイト Eーグ

どうぶつえんのえんちょうさんがマッチばこをあけると、なかからクモのヘレンがとびでてきました。どうぶつえんはハエだらけで、どうぶつたちはとてもこまっていました。ハエを食べるのがすきなヘレンが、ライオンのオリでいとをだしてクモのすをつくるとハエがどんどんひっかかってきます。ヘレンはそのハエを、つぎからつぎにたべていきました。

うみのダンゴムシ・やまのダンゴムシ

皆越 ようせい 写真・文 岩崎書店 485-ミ

海^{うみ}から山^{やま}までいろいろな場所^{ばしょ}にダンゴムシはすんでいます。海岸^{かいがん}の砂浜^{すなはま}にいるハマダンゴムシはからだの色^{いろ}が砂^{すな}の色^{いろ}に^いていて、浜^{はま}に打ち^うちあ^あげられた海藻^{かいそう}や昆虫^{こんちゅう}の死^しがいなどを食べる海^{うみ}べのそうじ屋^やさんです。山^{やま}にいるコシビロダンゴムシは、落ち^おちば^ばやくさりかけた木^きを食べる山^{やま}の森^{もり}のそうじ屋^やさんです。みなさんも海^{うみ}や山^{やま}、そして町^{まち}にいるダンゴムシをさがしてみませんか。

かぶとむしのぶんぶんちゃんうまれたよ！

ねもと まゆみ 作 たけがみ たえ 絵 童心社 Eータ

かぶとむしのようちゅうのぶんぶんちゃんは、やわらかいつちをたべて、おおきくなりました。なつがはじまるころ、からだをくねくねさせて、つちのなかにじぶんのへやをつくりまします。さなぎになったぶんぶんちゃんは、つのがないメスのかぶとむしです。だっぴしてりっぱになったぶんぶんちゃんは、ついにつちからでてとびたちました。

こちらムシムシ新聞社 ～ギタイは天敵がつくる？～

三輪 一雄 作・絵 偕成社 E-3

ムシムシ新聞社の七星くんは、読者からの質問に答えるため、虫のギタイについて調べようと山へ取材にいきます。ギタイとは天敵から逃れるためまわりのものと見分けがつかなくなった生きものの姿のことです。ギタイの生きものをさがしまわって、つかれた七星くんが枝でひとやすみすると「おい、じゃまだよ。」と枝がしゃべりました。

天才コオロギニューヨークへ

ジョージ・セルデン 作 吉田 新一 訳 あすなろ書房 933-セ

夏のはじめ、コオロギのチェスターはピクニックに来た人間たちのバスケットにとびこみ、ニューヨークの地下鉄の駅にやってきました。駅で友だちになった新聞売りの少年や、ネズミやネコたちは、チェスターがじょうずに歌をまねる才能があることを発見してくれます。チェスターのすんだ歌声は、地下鉄の駅じゅうにひびきわたりました。

セミせんそう ぽっぺん先生のどうぶつ日記5

舟崎 克彦 作 筑摩書房 913-フ

こうえんにおさんぽにいったぽっぺん先生のおでこに、ミンミンゼミがぶつかってきました。セミは「はやくおよめさんを見つけないとしそんをのこすことができない。」となみだながらにうったえました。たしかにことしにかぎってセミがすくなくとかんがえたぽっぺん先生はくびをかしげ、セミの一生について、セミにはなしはじめました。

バッタのオリンピック

日浦 勇 案 宮武 頼夫 文 福音館書店 486-ミ

河原はいろんな種るいのバッタがいるバッタの王国です。オンブバッタ、ショウリヨウバッタ、トノサマバッタなど、種るいによって空をとぶようすがちがいます。友だちといっしょにいろんなバッタをあつめて、種るいごとに1ぴきずつとばっこして、バッタのとびくらべオリンピックを試みましょう。